

1 東西の対立と冷戦構造

- (1) 東西①冷戦の開始…第二次大戦直後、米ソ間の対立表面化
 ・資本主義諸国→1949年②北大西洋条約機構(NATO)結成
 ・社会主義諸国→1955年③ワルシャワ条約機構(WTO)結成
- (2) 冷戦の深刻化…分断国家→朝鮮・ドイツ・ベトナム
 →ベルリン封鎖(1948年), ④朝鮮戦争勃発(1950年)

2 平和共存と多極化

- (1) ジュネーブ⑤四巨頭会談(1955年)…東西両陣営の歩み寄り→ソ連のスターリン批判, ⑥平和共存路線など「雪どけ」の進展
- (2) ⑦キューバ危機(1962年)…米ソ核戦争の危機を回避
 →⑧緊張緩和(デタント)進展…⑨ホットライン設置
- (3) 西側陣営…アメリカ→⑩ベトナム戦争に本格介入
 ⑩フランス→独自に核開発, NATO軍事機構から脱退
- (4) 東側陣営…中ソ対立の深刻化, 中国の核実験成功, 東欧での反ソ暴動続発
 →米ソの二極構造崩壊…東西両陣営で⑫多極化の進行
- (5) デタントの前進…ニクソン大統領の中国訪問(1972年)→米中国交正常化
 ⑬戦略兵器制限交渉(SALT)の妥結(1972年),
 ⑭ハトアム和平協定妥結(1973年)など

3 第三世界と非同盟の動き

- (1) ⑭第三世界…第二次世界大戦後の独立国。独自の立場を確立
 ・第1回⑮アジア・アフリカ会議(1955年)
 →内政不干渉など⑯平和五原則を宣言
 ・第1回⑰非同盟諸国首脳会議(1961年)
- (2) ⑱資源テニョリズムの高まり…第4次中東戦争で石油戦略発動(1973年), ⑲新国際経済秩序樹立の宣言(1974年)など

4 冷戦の終結と近年の国際情勢

- (1) ソ連⑳ゴルバチョフ政権→㉑ハルストイカ進展
- (2) ㉒マルタ会談(1989年)…米ソ首脳が①冷戦の終結を宣言
 →ベルリンの壁崩壊, 翌1990年東西ドイツ統一, 1991年ソ連消滅
- (3) アメリカ㉓同時多発テロ(2001年)→アフガニスタン攻撃
- (4) ㉔イラク戦争(2003年)…大量破壊兵器隠匿などが理由

STEP アメリカがアフガニスタンを攻撃した理由は何か。

㉕アフガニスタンをテロリストの温床と見なすから

SUPPORT

- ② アメリカ・カナダとヨーロッパ諸国10か国で結成した西側の集団安全保障体制。
- ③ ソ連・東欧諸国8か国で結成された東側の集団安全保障体制。NATOに対抗したもの。1991年解体。
- ⑤ 1955年, アメリカ・ソ連・イギリス・フランスの首脳が会談。
- ⑥ 西側諸国と東側諸国が平和的に対外関係を進めることができるという考え方。
- ⑨ 1963年に設置された米ソ両首脳を結ぶ直接回線のこと。
- ⑫ 西側の先進国を第一世界, 東側の社会主義諸国を第二世界, そしてどちらにも属さない発展途上国をこのようによんだ。

- ⑮ A・A会議, バンドン会議ともよぶ。
- ⑰ ユーゴスラビアのベオグラードで開催。
- ⑲ ロシア語で改革・再建の意味。「グラスノチ(情報公開)」や「新思考外交」もその一環。
- ㉒ ヤルタ体制とよばれた①が終結し, 新時代の到来が宣言された。

NOTE

別紙に説明プリントのありかを 利用して下さい。

「現代社会(戦後の国際社会)」

TRY

Q 戦後国際政治についてまとめた表の空欄を埋めなさい。

1946	[A]「鉄のカーテン」	1980	イラン・[F]戦争
1948	[B]封鎖(~49)	1989	マルタ会談で冷戦の終結	
1949	NATO 結成, 東西ドイツ分裂		1990	[F]がクウェート侵攻
1954	周・ネルー会談で[C]		東西ドイツ統一	
1955	第1回アジア・アフリカ会議		1991	ソ連邦解体	
1962	キューバ危機		2001	米同時多発テロ	
1965	アメリカがベトナム戦争に介入		2003	米英による[F]攻撃
1968	チェコ事件([D]の春)	2011	[G]の春
1979	ソ連[E]に軍事介入	2014	[H]で武力衝突

- A チェービル B ハルストイカ C 平和五原則 D アフリカ
 E アフガニスタン F イラク G アラブ H ウクライナ